

(2) 入学者に関する受け入れ方針、入学者数、収容定員、在学者数、卒業者数、進学者数、就職者数及び卒業後の主な進路

(2)-1 入学者に関する受入方針

平成30年5月1日現在

埼玉工業大学 工学部	
機械工学科	<p>【入学者に関する受け入れ方針】</p> <p>機械工学科では、建学の精神である使命感・人生観・連帯感の涵養を礎として、機械工学の方面で社会に貢献できる人材の育成を目的としている。本学科では、機械工学を学ぶ基礎学力を有し、機械技術者になることへの夢を抱いて、常に自分を磨くことを考えながら社会に貢献する意欲のある人材を受け入れる。</p>
生命環境化学科	<p>【入学者に関する受け入れ方針】</p> <p>いずれの専攻においても、化学、生物学、数学、英語などの基礎学力の向上のみならず、自然科学の幅広い総合的な知識並びに実験科学等の実学に対して深い興味と素質を持ち、生命科学・環境科学・材料科学分野の発展に貢献しうる問題解決能力と実践的応用力を潜在的に併せ持つ入学生を選抜している。具体的には、次のような学生像が本学科に適合すると考える。</p> <p>(1)自然科学に深い興味や関心をもち、以下に例示するテーマを基盤として積極的に取り組む意欲のある人。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物や生命の仕組みの探求と機能解明、および工学的応用 ・環境の保全(地域的・地球的視野のいずれでも)とその環境浄化技術の開発、および新エネルギー開発 ・物質や材料の機能の解明や創製、および新素材、新規機能材料の開発 <p>(2)いわゆる「実験」が好きで、技術力、実践力を実社会で大いに発揮したい人。</p> <p>(3)好奇心が旺盛で、失敗を恐れず積極的にチャレンジする挑戦心に富む人。</p> <p>(4)自らの興味に沿った活動を積極的に展開し、世界を開拓したいパイオニア精神を持つ人。</p> <p>(5)身につけた科学的知識や技術などの多彩な経験を、専門職業人として生かす意欲のある人。</p>
情報システム学科	<p>【入学者に関する受け入れ方針】</p> <p>これからの高度情報化社会(情報通信、電気自動車、情報家電、物流など)を支えるICT(情報通信技術;Information and Communication Technology)技術者が強く求められている。ソフトウェア、ハードウェアに精通して総合力を発揮し情報システムを構築できるICT技術者の養成を教育の理念としている。このため、本学科ではソフトウェアに重点を置いた情報システム技術(コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェア、プログラミング、CG等)と、電子工学に重点を置いた電子情報技術(電子デバイス、電子回路、通信、デジタル情報など)を教育しており、以下の適性を持つ学生を入学試験で求めている。</p> <p>(1)情報システム学の学習に必要な基礎学力とコミュニケーション能力を有する人</p> <p>(2)コンピュータ、情報通信の分野に強い興味と関心を持つ人</p> <p>(3)電子工学に関する高度な専門知識を身につけ社会でニーズの高い電子技術者を目指したい人</p> <p>(4)好奇心が旺盛で、何事にも積極的かつ自主的に取り組む人</p> <p>(5)ものづくりに興味があり、自分の手で新しいものを創り出すことに興味のある人</p>

埼玉工業大学 人間社会学部	
情報社会学科	<p>【入学者に関する受け入れ方針】</p> <p>情報社会学科は、幅広い教養と知識基盤社会で必要とされる知識・技能を身につけ、それらを主体的に活用して社会に貢献できる人材を育成することを目指しています。これを実現するために、社会の様々な分野において、自ら課題を発見し解決することを通じて変化の激しい現代社会に対応し、主体的に活動してゆこうとする人を求めています。具体的には以下のような意欲を持った入学者を受け入れれます。</p> <p>一 経営、情報、法律、経済等を学び、現代社会の様々な課題に立ち向かっていきたい人</p> <p>二 コンピュータ・グラフィックスやコンピュータ・ミュージックなどのデジタルメディアに関する知識や技能を学び、情報技術を活用した表現活動をしたい人</p> <p>三 文化、思想、宗教、歴史を学び、人間社会の普遍的な課題について追究したい人</p> <p>四 様々な分野を横断的に学び、社会で活用したいと考えている人</p>
心理学科	<p>【入学者に関する受け入れ方針】</p> <p>本学科では、人間の心と行動を科学的に解明する教育・研究を通じて、人間の心を深く理解し、社会に貢献できる人材を養成することを目的としています。心理学は他の学問と比べ、非常に間口の広い学際的な学問です。文系と理系という枠組みにとらわれずに、客観的な視点から自分や他者の心を理解して、仕事や社会生活に生かしたい人、あるいは、心の問題を抱えた人に対するケアやカウンセリングなどの専門職を目指す人など、人間の心の探究に関心を持つ人材を広く求めています。</p>

埼玉工業大学 大学院 工学研究科博士前期課程

<p>機械工学専攻</p>	<p>【入学者に関する受け入れ方針】 今日、われわれの豊かな生活はエネルギーに依存する度合いが極めて高く、特に近年の知識集約的高度産業に見られるように、エネルギー生産にかかわる諸々の技術の高効率化と環境に対する負荷低減が強く要請されている。一方、生産システムが高度になるほど、より高機能な力学特性を持つ構造材料の設計・開発、新しい加工技術、自然災害を含む外部からの力学的擾乱に対する能動および受動的制御が求められる。また、機械工学は生産に携わるあらゆる産業の基盤であるばかりでなく、到来しつつある高齢化社会において人々の暮らしをサポートして、豊かな生活から幸福な生活への転換を促す技術開発においても要となる分野である。 本専攻は、このような社会的要請に対応して、高効率性の追求と同時に、来るべき高齢化社会に備えて機械工学的見地から豊かで幸福な人間生活のための柔軟で新しい科学技術の発展に貢献し得る優れた技術者、研究者を育成することを目的としている。 このような目的に照らして、本専攻では、「エネルギー工学教育研究分野」及び「機械システム工学教育研究分野」の2教育研究分野を設けて、理論的、実験的に教育研究を行う。 (1) エネルギー分野や機械システム分野とその応用に興味を持ち、本専攻での学習・研究を強く希望するもの (2) 上記の学習に必要な基礎学力と英語を含めたコミュニケーション能力を有するもの (3) 明確な目的意識を持って、積極的かつ自主的に研究に取り組み、得られた成果を社会に還元する意欲を持ったもの</p>
<p>情報システム専攻</p>	<p>【入学者に関する受け入れ方針】 情報システム工学は、現代の高性能コンピューターやインターネット社会の中心的な役割を果たしている。コンピューターネットワークには、有線・無線通信技術や信号処理技術の発展が必要である。また、工学とは人間生活を豊かにする学問でもあり、人間と機器に友好的なインタフェース、生体情報を利用した情報セキュリティ、医用画像処理など工学的見地から日常生活を支援する研究が重要になっている。さらに、コンピューター・ハードウェアの更なる発展のためには、ナノテクや量子効果を利用したデバイスの開発やこれらに用いる新材料の開発が不可欠である。このようなシステムを連携する情報処理技術の高度化、統合化に関する要請も重要になっている。このため、ソフトからハード、基礎から応用まで情報システム工学に関する幅広い知識を持つ人材が求められている。 以上のことから、本専攻では次のような大学院生を求めている。 (1) 情報工学、システム工学、ネットワーク工学、ロボット工学、電子デバイス、通信工学、画像工学、信号処理、人工知能、プラズマ工学、材料工学、量子物理学、などの情報システム工学関連分野に興味を持ち、本専攻での学習・研究を強く希望するもの (2) 上記の学習に必要な基礎学力とコミュニケーション能力を有するもの (3) 明確な目的意識を持って、積極的かつ自主的に研究に取り組めるもの</p>
<p>生命環境化学専攻</p>	<p>【入学者に関する受け入れ方針】 科学技術の進歩が著しい中で、特に21世紀の重要課題である、新素材の開発、環境問題の解決、バイオテクノロジーの発展などにおいて、飛躍的な発展が続いている。 本専攻では、現代および将来に求められる広範な生命環境化学領域の専門性に対応して、材料化学、環境化学、生命化学の3分野を設け、社会のニーズに応え、科学技術の進歩に柔軟に対応し、21世紀の日本を支える優れた技術者、研究者を育成することを目指している。以上の方針に基づき、本専攻では以下のような大学院生を求めている。 (1) 材料化学、環境化学、生命化学関連分野に興味を持ち、本専攻での学習・研究を強く希望する人 (2) 「研究」および「実験」が好きで、技術力・実践力・創造力を大いに発揮したい人 (3) 好奇心が旺盛で、失敗を恐れず積極的にチャレンジするバイオニア精神をもつ人 (4) 身につけた科学的知識や専門技術を専門技術者・研究者として生かす意欲のある人 (5) 明確な目的意識を持って、積極的かつ自主的な姿勢で研究活動に取り組める人</p>

*システム工学専攻・応用化学専攻・電子工学専攻は募集停止

埼玉工業大学 大学院 工学研究科博士後期課程

<p>機械工学専攻</p>	<p>【入学者に関する受け入れ方針】 今日、我々の豊かな生活は、エネルギーに依存する度合いが極めて高く、特に近年知識集約の高度産業に見られるように、エネルギー生産にかかわる諸々の技術の高効率化が強く要望されている。それと同時に、工学は人間生活を豊かにする学問でもあり、工学的見地から人間を支援する研究が重要になっている。 本専攻は、このような社会的要請に対応して、高効率性の追求と同時に、来るべき高齢化社会に備えて機械工学的見地から豊かで幸福な人間生活のための柔軟で新しい科学技術の発展に貢献し得るとともに、これまでにない新技術や新分野に対応できる優れた技術者、研究者を育成することを目的としている。 このような目的に照らして、本専攻では、「エネルギー工学教育研究分野」及び「機械システム工学教育研究分野」の2教育研究分野を設けて、理論的、実験的に教育研究を行う。 (1) エネルギー分野や機械システム分野とその応用に興味を持ち、本専攻での学習・研究を強く希望するもの (2) 上記の学習に必要な基礎学力と英語を含めたコミュニケーション能力、特に英語で研究成果を発信する能力を有するもの (3) 明確な目的意識を持って、積極的かつ自主的に研究に取り組み、得られた成果を社会に還元する意欲を持ったもの</p>
<p>情報システム専攻</p>	<p>【入学者に関する受け入れ方針】 情報システム工学は、現代の高性能コンピューターやインターネット社会の中心的な役割を果たし、現在も発展を続けている。本専攻では、情報工学、電子工学、先端材料、量子物性の四つの教育研究分野に分れ、基礎理論から応用技術まで幅広く国際的に活躍できる豊かな見識と高い倫理観をもつ研究者の育成を行う。以上のことから、本専攻では次のような大学院生を求めている。 (1) 電子情報システム工学関連分野に興味をもち、その学習に必要な高度な学力とコミュニケーション能力を有するもの (2) 明確な目的意識を持って、積極的かつ自主的に研究に取り組めるもの</p>
<p>生命環境化学専攻</p>	<p>【入学者に関する受け入れ方針】 人間生活の基盤を支える物質は、科学技術の進歩とともにますます増加し、互いに有機的な結びつきを深めている。科学技術の進歩が著しい中で、応用化学の研究分野も大きく広がっている。特に、21世紀の重要課題である、新素材の開発、環境問題の解決、バイオテクノロジーの発展などにおいて、応用化学の果たす役割は重大である。 本専攻では、現代および将来に求められる広範な生命環境化学領域の専門性に対応して、材料化学、環境化学、生命化学の3分野を設け、社会のニーズに応え、科学技術の進歩に柔軟に対応し、21世紀の日本を支える優れた技術者、研究者の育成を目指している。 以上の教育方針に基づき、本専攻博士後期課程では以下の視点からの専門性の高い大学院生を求めている。 (1) 材料化学、環境化学、生命化学関連分野に興味を持ち、本専攻での学習・研究を強く希望する人 (2) 「研究」および「実験」が好きで、技術力・実践力・創造力を大いに発揮したい人 (3) 好奇心が旺盛で、失敗を恐れず積極的にチャレンジするバイオニア精神をもつ人 (4) 身につけた科学的知識や専門技術を専門技術者・研究者として生かす意欲のある人</p>

*システム工学専攻・応用化学専攻・電子工学専攻は募集停止

埼玉工業大学 大学院 人間社会研究科 修士課程

<p>情報社会専攻</p>	<p>【入学者に関する受け入れ方針】 ≪情報社会システム教育研究分野≫ 本教育研究分野では、情報通信技術(ICT)の理解/活用力、外国語活用力など学部卒業程度の学力を有する人材を受け入れます。また経済、経営、法律など社会知識を有する人材を受け入れます。「教育とは生涯に渡って継続されるもの」という理念に基づいて、大学学部卒業した後において、科学・技術・社会・文化の発展に伴って再教育の必要性を感じている社会人や外国人も積極的に受け入れます。教職課程では高等学校教諭専修免許状(情報)取得を希望する人を受け入れます。 ≪デジタル・クリエイター教育研究分野≫ 本教育研究分野では音響・映像・言語などのメディアを使用した創造的表現力が要求され、制作品提出を受け入れの対象にすることもできます。また近年のマルチメディア技術・クラウド技術、スマホやタブレット端末の普及増大に伴い、情報処理、インターネット・WEBの理解/活用術、並びに外国語活用力について学部卒業程度の学力も求められます。 「教育とは生涯に渡って継続されるもの」という確信と理念に基づき、現在活動中のクリエイターや上記分野における新しいknow-howを吸収したい社会人を積極的に受け入れます。また教職課程について学部卒業時に取得した高等学校教諭一種免許状の延長線上にある高等学校教諭専修免許状(情報)を取得したい者を受け入れます。</p>
<p>心理学専攻</p>	<p>【入学者に関する受け入れ方針】 ≪実験心理学教育研究分野≫ 知覚や思考などの情報処理プロセスの解明をめざす認知科学の専門的な教育研究を行います。 本教育研究分野では、実験心理学に関する優れた研究能力と実践的応用力を身につけて高度の専門的職業人や研究技術者を旨とする人、大学院博士課程に進学して研究者への道を志す人、あるいは心理学関連の専門職(心理職公務員等)を希望する人など、多彩な人材を求めています。 ≪臨床心理学教育研究分野≫ 公認心理師や臨床心理士資格を取得し心理専門職として高度な専門的職業人を旨とする人材を求めています。</p>

(2)-2 入学定員・入学者数・収容定員・在学者数

工学部	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
機械工学科	115 人	114 人	460 人	506 人
生命環境化学科	110 人	71 人	440 人	355 人
情報システム学科	135 人	229 人	540 人	753 人
工学部合計	360 人	414 人	1,440 人	1,614 人

人間社会学部	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
情報社会学科	90 人	96 人	360 人	306 人
心理学科	50 人	54 人	200 人	205 人
人間社会学部合計	140 人	150 人	560 人	511 人

埼玉工業大学 学部	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
学部合計	500 人	564 人	2,000 人	2,125 人

工学研究科 前期課程	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
機械工学専攻	6 人	5 人	12 人	5 人
情報システム専攻	7 人	15 人	14 人	15 人
生命環境化学専攻	7 人	7 人	14 人	7 人
前期課程合計	20 人	27 人	40 人	27 人

工学研究科 前期課程	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
システム工学専攻	6 人	0 人	12 人	7 人
電子工学専攻	7 人	0 人	14 人	11 人
応用化学専攻	7 人	0 人	14 人	5 人
前期課程合計	20 人	人	40 人	23 人

工学研究科 後期課程	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
機械工学専攻	2	1	6	1 人
情報システム専攻	2	0	6	0 人
生命環境化学専攻	2	2	6	2 人
後期課程合計	6 人	3 人	18 人	3 人

工学研究科 後期課程	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
システム工学専攻	2 人	0 人	6 人	2 人
電子工学専攻	2 人	0 人	6 人	14 人
応用化学専攻	2 人	0 人	6 人	1 人
語期課程合計	6 人	0 人	18 人	17 人

人間社会研究科 修士課程	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
情報社会専攻	10	2	20	5 人
心理学専攻	15	5	30	13 人
修士課程合計	25	7	50	18 人

埼玉工業大学 大学院	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
大学院合計	51 人	37 人	108 人	88 人

埼玉工業大学 合計	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
合計	551 人	601 人	2,108 人	2,213 人

(2)-3 卒業生数・進学者数・就職者数

工学部	卒業生数	進学者数	就職希望者数	就職者数
機械工学科	88	1	82	82 人
生命環境化学科	121	12	103	99 人
情報システム学科	153	9	138	134 人
工学部合計	362 人	22 人	323 人	315 人

人間社会学部	卒業生数	進学者数	就職希望者数	就職者数
情報社会学科	76	0	72	66 人
心理学科	42	4	30	25 人
人間社会学部合計	118 人	4 人	102 人	91 人

埼玉工業大学 学部	卒業生数	進学者数	就職希望者数	就職者数
学部合計	480 人	26 人	425 人	406 人

工学研究科 前期課程	卒業生数	進学者数	就職希望者数	就職者数
システム工学専攻	5	0	5	5 人
応用化学専攻	12	0	11	10 人
電子工学専攻	4	0	2	1 人
前期課程合計	21 人	0 人	18 人	16 人

工学研究科 後期課程	卒業生数	進学者数	就職希望者数	就職者数
システム工学専攻	2	0	2	2 人
応用化学専攻	1	0	1	1 人
電子工学専攻	6	0	5	1 人
後期課程合計	9 人	0 人	8 人	4 人

人間社会研究科 修士課程	卒業生数	進学者数	就職希望者数	就職者数
情報社会専攻	1	0	1	1 人
心理学専攻	7	0	6	5 人
修士課程合計	8 人	0 人	7 人	6 人

埼玉工業大学 大学院	卒業生数	進学者数	就職希望者数	就職者数
大学院合計	38 人	0 人	33 人	26 人

埼玉工業大学 合計	卒業生数	進学者数	就職希望者数	就職者数
合計	518 人	26 人	458 人	432 人

(2)-4 主な就職先

埼玉工業大学 工学部	
機械工学科	本田技研工業(株)、パナソニック(株)、(株)東芝、日本製紙(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)セブン・イレブン・ジャパン、スズキ(株)、ミネベア(株)、ショーワ(株)、東京ガス(株)、日本電産コパル(株)、澤藤電機(株)、昭和産業(株)、(株)ナカヨ、(株)トーモク、天馬(株)、(株)エフテック、藤田エンジニアリング(株)、関東グリコ株、坂本工業(株)、長谷川工業(株)他
生命環境化学科	太陽誘電(株)、東京ガス(株)、わらべや日洋(株)、(株)ミツバ、(株)吉野工業所、勝田化工(株) UCC上島珈琲(株)、中本パックス(株)、ロックペイント(株)、ビーエフ&パッケージ(株) 高信化学(株)、(株)ヨコオデイリーフーズ、三益半導体工業(株)、(株)ビー・エム・エル リンテック(株)、ホクト(株)、大成ラミック(株)、(株)江東微生物研究所、東京特殊硝子(株) 他
情報システム学科	トヨタ自動車(株)、JBCC(株)、JFEスチール(株)、サンデンホールディングス(株) セイコーインスツル(株)、ソフトバンク(株)、テイ・エステック(株)、(株)DTS、(株)ナカヨ、(株)フコク (株)東和銀行、(株)両毛システムズ、山洋電気(株)、小倉クラッチ(株)、正田醤油(株) 東京ガス(株)、日清食品(株)、日本精機(株)、日本製紙(株)、日本電子(株) 他

埼玉工業大学 人間社会学部	
情報社会学科	(株)セブン・イレブン・ジャパン、T&D情報システム(株)、TIS(株)、イオンディライト(株) ケルヒヤー・ジャパン(株)、コンピュータロン(株)、トランス・コスモス(株)、(株)大塚商会 パナホーム(株)、ヤマト運輸(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・データ、(株)コジマ、トランコム(株) (株)ビー・エム・エル、(株)ヤオコー、(株)ワンビシアーカイブズ、共同コンピュータ(株) 他
心理学科	(株)エヌ・ティ・ティ・データ、ウエルシア薬局(株)、(株)LIXILピバ、(株)イトーヨーカ堂 (株)カインズ、(株)クスリのアオキ、(株)クリエイトエス・ディー、(株)サンドラッグ、(株)島忠 (株)しまむら、(株)セキ薬品、(株)ベイシア、(株)ワコールホールディングス、埼玉信用組合 戸田中央医科グループ、深谷市教育委員会、埼玉県警察、法務省(刑務官) 他

埼玉工業大学 大学院	
工学研究科	アルプス電気(株)、トピー工業(株)、セイコーインスツル(株)、東京パワーテクノロジー(株) 富士通フロンテック(株)、テイ・エステック(株)、オムロン ソーシャルソリューションズ(株)
人間社会研究科	(株)フジキン、(株)パイオラックス、(株)タムロン、日本電産コパル(株)、日本ピストンリング(株) 川研ファインケミカル(株)、さいたま市役所、熊谷児童相談所 他